

過労とストレスによる労災 1097件

— 昨年度から193件増えて過去最多 —

「疲労の信号」の例

頭痛・めまい・耳鳴り・
舌のコケ・便秘・冷や汗…



過重労働や仕事のストレスを原因とした労災認定の件数が2023年度は前年度より193件多い1097件で、過去最多となりました。心を病む精神障害が173件増えており、また、パワハラやセクハラなどによる深刻な実態が改めて明らかになっています。

過重労働やストレス等の労災認定を年齢別に見ると、40代が最多の239件で、20代（206件）、30代（203件）と続いていました。そして全体の47%は女性でした。

原因別では、パワハラが最多の157件で、セクハラは103件、今回から新たな分類項目の「カスハラ（カスタマーハラスメント）」（客や客先が理不尽な要求をして担当者を追いつめたり、非常に困らせる行為）も52件ありました。

厚労省はストレス等の労災認定増加要因について、14年に「過労死等防止対策推進法」が成立するなどして理解が進んだほか、精神障害の認定基準が昨年に改正され、心理的負荷を評価する具体例が拡充した点を挙げています。

また、脳・心臓疾患は、労災請求が過去最多の1023件（前年度比220件増）で、認定は20件多い214件（うち死亡が56件）でした。脳・心臓疾患の認定は近年減少傾向でしたが、21年度（172件）に底を打ってから2年連続の増加となりました。厚労省は、働く高齢者の増加が影響しているのではないかと見えています。

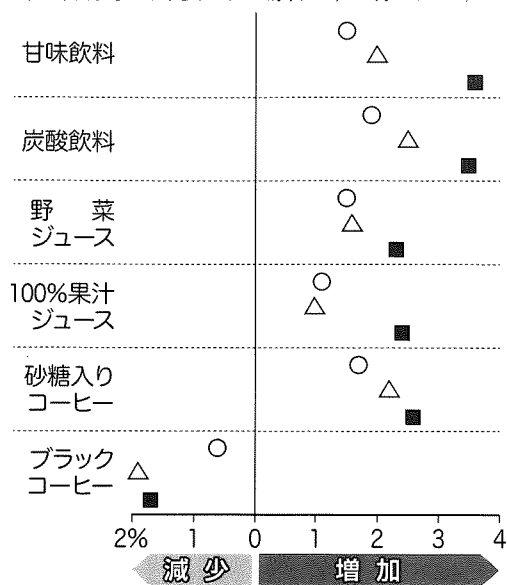
（引用・詳細「朝日」24・06・29）

糖分を含む飲料 うつ病リスクを高める

国立精神・神経医療研究センター

飲料とうつ病の関係

(全く飲まない人を0とした場合のうつ病のリスク)



○ 少し飲む △ 中くらい飲む ■ 多く飲む
 ※国立精神・神経医療研究センターの分析による



▼中高年期に甘味飲料や炭酸飲料など、糖分を含む飲み物を多く飲む人はうつ病になるリスクが高く、逆に砂糖を入れないブラックコーヒーでは低いとする分析結果を、国立精神・神経医療研究センターのチームが栄養学専門誌に発表しました。

▼研究チームは、国内の7県に住む人のうつ病になっていない40〜70歳の約10万人の調査結果と、そのうち5年後にうつ病と評価された人のデータを踏まえて、飲料の種類と摂取量、うつ病の発症リスクを調べました。

▼その結果、甘味飲料、炭酸飲料、野菜・果物ジュース、砂糖入りコーヒーなどを多く飲む人は、それぞれ全く飲まない人と比べて、うつ病のリスクが2・3〜3・6%高くなっていました。そして、ブラックコーヒーを多く飲む人はうつ病のリスクが逆に1・7%低いとの結果になりました。

▼チームによると、糖分は脳神経に栄養となるタンパク質を減らし、炎症作用もあるとされ、他方、コーヒーに含まれるカフェインの酸化化や炎症症といったプラス作用が影響した可能性があるとされています。

研究チームの同センター精神機能研究室長は「全体としては、糖分を含む飲料の摂取を控えることが、うつ病の予防には良いと考えられる」と話しています。(資料・引用「東京」24・07・10)

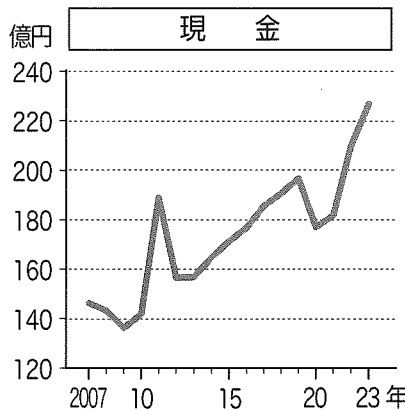
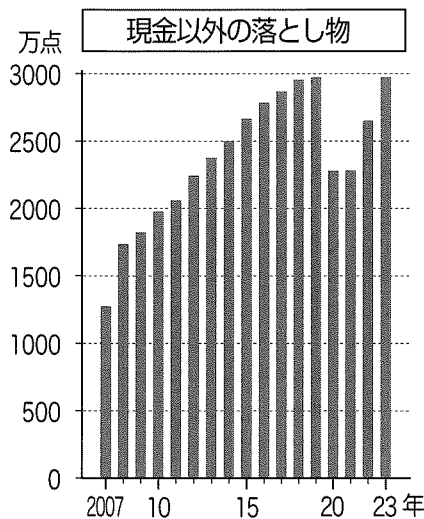
安全衛生トピックス

「落とし物」過去最多に (警察庁発表)

小型電化製品の落とし物が増加

物品と現金の 落とし物の推移

(警察庁まとめ)



命は
落とさない
ように



2023年に全国の警察に拾得物として届けられた現金以外の「落とし物」は、前年から約315万点増の2978万7068点で、統計のある1971年以降で過去最多だったことが警察庁の調査で分かりました。

コロナ対策の行動制限緩和による人出の増加に加え、電化製品の小型化も落とし物をしやす

い状況に影響していると見られています。

2023年は現金の拾得物も前年から約17億円増え、約228億4568万円と過去最多でした。

警察庁によると、近年はワイヤレスイヤホンやモバイルバッテリー、携帯扇風機、加熱式タバコなど、小型電化製品の落とし物が目立つといます。

警察庁の担当者は「スマートフォンの周辺機器など、昔に比べて小型製品を日頃から多く身につけるようになったことが、増加の原因になっているのではないかと分析しています。

現金の拾得物について担当者は、キャッシュレス決済の普及で「使わない現金を財布に残したまま落とすケースが増えているのだろう」と推測しています。

拾得物は「遺失物法」に基づいて管理されており、前年に届けられた現金も含め、持ち主が見つからないなどとして都道府県の歳入になったのは、約34億699万円に上っていました。

(資料・詳細「東京」24・05・27)

海外の事故・災害から

…2024年6月…

- ▼ベトナム ビンフオック省 合板工場で接着剤ミキサー機に材料を投入していた男性作業員が、ミキサー内に転落して死亡。
- ▼コンゴ マイヌドンベ 約270人が乗った船がエンジンの不具合で河岸に衝突して転覆。死者不明86人。
- ▼マラウイ共和国 首都リロングウェから北部ムズズに向かっていた副大統領らが搭乗した軍用機が、悪天候で引き返す途中で森林に墜落し消息を断つ。死者不明10人。
- ▼フランス パリ近郊 ベルサイユ宮殿で改修工事中の屋根部分から発煙。観光客数千人が避難。
- ▼タイ バンコク 魚市に隣接するペット市場の観賞魚ゾーンで火災。ペットシヨップ100店舗以上、約1300㎡焼損。
- ▼カタール クウェート 外国人労働者が多く暮らす7階建て集合住宅で火災。1階から燃え広がり階段を通じて煙が充満。安全基準違反の可能性。死者不明49人、負傷50人以上。
- ▼サウジアラビア 世界中から約180万人が参加したメッカへの大巡礼「ハッジ」で、気温50℃を超える猛暑で死者多数。死者の8割以上が巡礼の許可なしで暑さ対策せず。死者不明1301人、負傷約50万人。
- ▼シンガポール 貨物港ターミナルで、水底の土砂などを掘り取る浚渫船が停泊中の燃料船に衝突。原油が流出する。
- ▼中国 広東省、福建省など 記録的豪雨による山崩れや洪水。家屋倒壊多数。死者不明57人以上。
- ▼インド 西ベンガル 特急列車に貨物列車が衝突、複数の車両が脱線し、一部大破。信号見落としが原因。死者不明15人、負傷50人以上。
- ▼タイ トラン県 中学校で教師に頼まれ、長年利用されていなかった給水機の電源を切ろうとした生徒が感電死。豪雨のためびしょ濡れだった。助けようとした生徒も被災。死者1人、負傷1人。
- ▼韓国 京畿道 一次電池メーカーの工場で、検査・包装中のリチウム電池が爆発的燃焼。消火が難航し、非常口付近に発火物があり脱出できず犠牲多数。死者不明23人、負傷8人。
- ▼フィリピン ミンダナオ島 花火製造会社の工場で爆発、火災。地面に直径20mの穴ができ、周辺の工場や民家など被害。死者不明5人、負傷38人。
- ▼トルコ イズミル レストランでプロパンガスのボンベが爆発。死者5人、負傷63人。

(資料・引用)災害情報 早稲田大学理工学術院総合研究所編集発行、ほか